

NEWS

安全衛生委員会「安全視察・研修」開催

2月27日(火)安全衛生委員会(加山昌弘委員長)による会員企業の安全意識の向上を図るべく安全衛生の取組等をご教示いただき協会の安全衛生委員会の取組の参考とさせていただき「安全視察・研修」が行われました。今回は中部保全(株)幸田営業所/エコプラザ・中間処理施設(額田郡幸田町坂崎字与荒子26)、(株)エヌジェイエス宮迫工場・選別・破碎・焼却施設(西尾市吉良町宮迫大上42-79)を訪れました。8時30分に日本特殊陶業市民会館(名古屋市中区金山)前に集合し、安全衛生委員、専務理事 渡邊 修氏、事務局長 小坂元信氏、(株)辻安全サービスセンター所長 辻 宏夫氏を含めて12名が参加され、バスにて出発しました。



説明をする中部保全(株)近藤常務取締役

中部保全(株)幸田営業所に到着し、常務取締役 近藤千雅氏より事務所2階会議室で資料を見ながら施設の概要について説明がありました。その後、工場施設内に入りました。容器包装リサイクル法に基づいて収集されたプラスチック製容器包装を分別し破袋、圧縮、梱包する施設や行政からの依頼を受けて缶、ペットボトル等の不燃ごみの収集、分別破碎設備、ベルトコンベヤーの手選別ライン、事務用什器、畳を破碎するギロチン、機密書類の破碎設備を見学しました。

会議室に戻り工場内の安全衛生に対する取組みの問題点について話し合われました。近藤氏から今までも安全衛生に対しては色々取り組んできましたが、4月より安全衛生委員会を立ち上げて、社員の意見を取り入れた改善や安全衛生に取り組んでいきますとの話がありました。委員の方からは施設内の問題点が上げられ、辻氏から安全衛生委員会での注意点として、会議では社長はあまり発言せず社員一人一人の意見の聞き役に回ることによって会社の問題点が出



てきます。その問題点を改善することで、社員の安全衛生に対する問題意識が高まり安全につながります等の指導があり終了しました。

午後から(株)エヌジェイエス宮迫工場に向い、事務所2階で統括部長 村田新一氏より施設の概要について、当工場で建設廃材等を金属類、廃プラスチック類、石膏ボード、がれき、木くず等に選別、破碎、焼却を行っ



説明をする(株)エヌジェイエス 村田部長

ていますとの説明がありました。安全衛生の取組については毎朝全員でラジオ体操、朝礼を行っていて朝礼では取運、選別、焼却の各部の連絡事項の確認を行い、全員で挨拶の言葉と安全衛生の標語を唱和します。その後取運部、選別部、焼却部各部で打合せ、KYT(危険予知訓練)等を行い作業にかかります。安全作業基準書の作成と基準書の随時見直しや安全講習などに積極的に参加するなどを行ってきました。また各部毎に安全5訓を掲示するなど啓蒙活動、防火訓練も定期的に行っておりますとの説明がありました。その後フォークリフト、ユンボ等重機が走る敷地内を見学した後事務所に戻り、各委員から安全への留意点が述べられました。辻氏からマスク、防塵メガネの着用率が低いなど安全衛生に対する問題点の指摘があり、社員の安全と企業防衛のために安全委員会の設置を要望されました。